

ひだかの魅力 再・発・見

今回の「ひだかの魅力再発見」は、東京2020オリンピック聖火ランナーの中村葉子さんをご紹介します。



中村 葉子さん(高萩)

東京2020オリンピック 聖火ランナー

聖火ランナーに応募したきっかけは、小児用車椅子のことを、もっと世の中の人に知ってほしいという思いからでした。6歳の長女は希少難病である滑脳症という障がいがあります。小児用車椅子の認知度は低く、寂しく悲しい思いをすることも、聖火リレーを通して障がい児を育てる母親の気持ちを言えるような環境作りをしたいと思いました。

同じ悩みを持つ母親へ、相談できる場所を。私が助けてもらったように、私も誰かの助けになりたいです。

6月には「医療的ケア児支援法」が可決され、少しずつ環境が変わり始めています。障がい児一人一人の希望の実現や選択肢が増え、障がい児の家族に対するいじめや偏見のない環境になっていったらいいなと思っています。



聖火リレーの感想

当日はたくさんの観客に囲まれ、緊張していてもあっという間に終わってしまいました。コロナ禍で中止になってしまったかと思った時期もありましたが、無事に走ることができてよかったです。



「ママのジャケットで寝返り変身！」

大川 准征ちゃん

9か月
(横手)



「食べてる時が1番の笑顔です」

鈴木 奏人ちゃん

1歳11か月
(中鹿山)

お子さんの写真を掲載しませんか？市ホームページ「便利なサービス」にある「電子申請」から投稿できます。プリントした写真を提出する場合は、お子さんの氏名・生年月日、保護者の住所・氏名・電話番号、一言コメントを市政情報課広報・統計担当へ郵送または直接お寄せください。

投稿はこちら→



わが家の
愛撮る

編集室

昨年の広報ひだか8月号の表紙はカブトムシでした。撮影後リリース予定でしたが、我が家の18歳児(娘)が目キラキラさせながら「飼いたい！」と言いだし、50歳児(夫)も「しょうがないなあ」と言いながらも喜々として飼育のレクチャーを始めてしまったため、退路を断たれそのまま飼育すること。「カブ蔵くん」と名付けられ、2匹のお嫁さんをもらい、10月中旬まで長生きしました。たくさん卵を残していったカブ蔵くん一家。娘が受験勉強そっちのけで世話をした甲斐もあり、いくつかの卵が孵化し、ついに1匹が成虫になりました。オスだったので「カブ蔵くんJ」と名付けられ、我が家で元気に過ごしています。(A)

皆さんに聞きました！ 注目のオリンピック競技



神田 幸一朗さん (原宿)
翠さん
一柊ちゃん



小林 浩さん (下鹿山)
実紗さん
春登ちゃん